

えらキャップ挿入方法の検討

(箱桁内面から挿入した場合)

検討目的

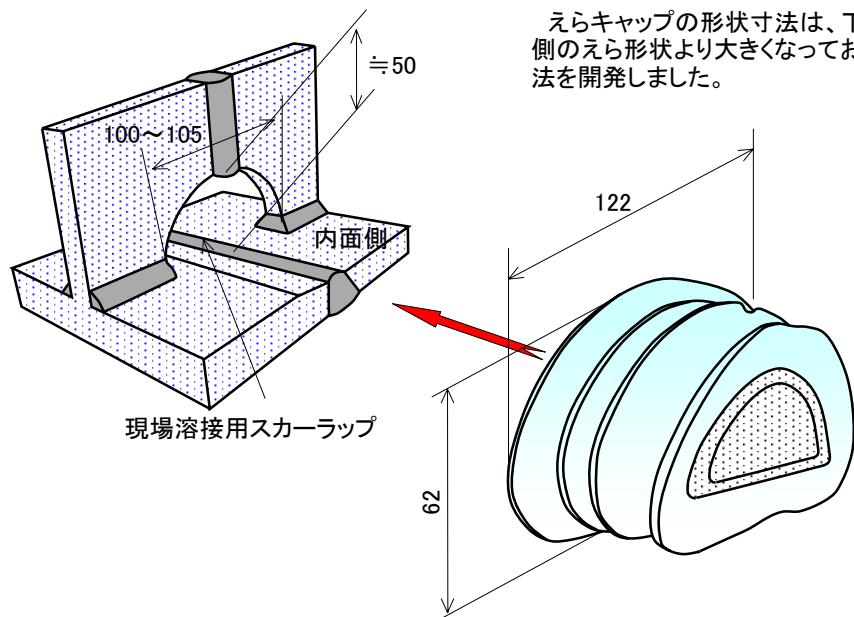
架設工程の関係から架設用足場が先に解体された場合、現場溶接用スカーラップ孔の閉塞は内面側または橋面上の重機からとなります。橋面上からの挿入は別として内面側からの挿入が可能となれば経済性に優れていることは事実です。そこで、えらキャップを内面側から挿入する場合の手法について検討することを目的としました。

平成27年3月17日

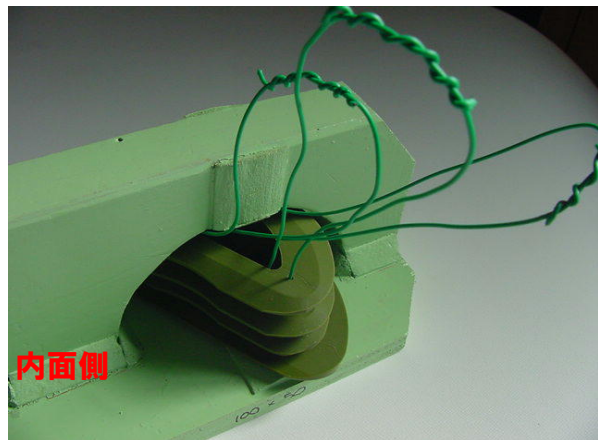
(株) K・S・マスターズ

えらキャップ内面側からの挿入要領（１）

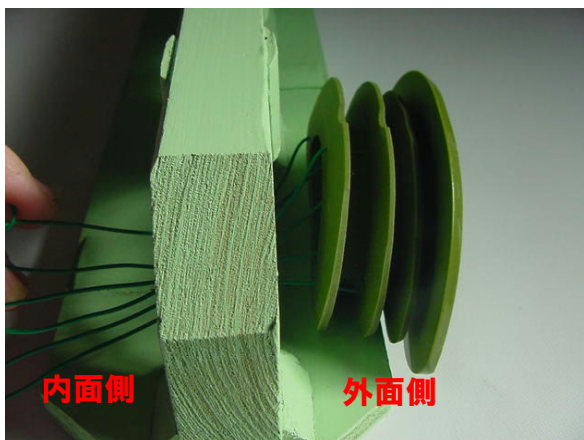
えらキャップの形状寸法は、下図に示すとおりスカーラップの形状寸法より大きく作られております。特に、外面側の化粧板は内側のえら形状より大きくなっておりますので内面側からの挿入は大変難しくなります。それを解決する方法として以下のステップ手法を開発しました。



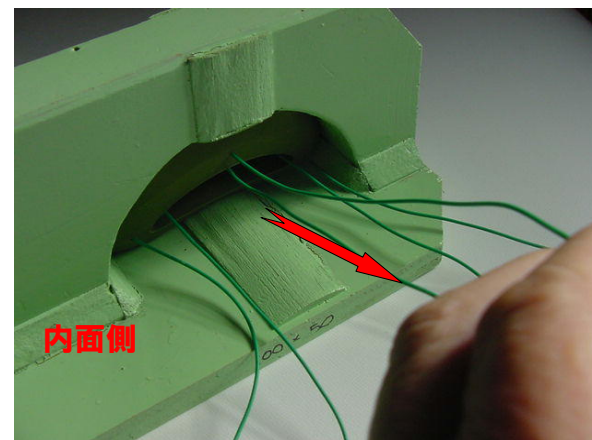
① 挿入用針金を製品に取り付けます。



② えらキャップを寝かせた状態で外面側に押し出します。

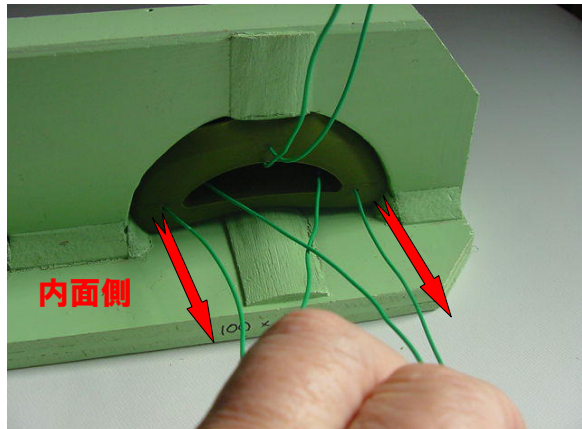


③ えらキャップを縦起こし挿入できる状態にします。

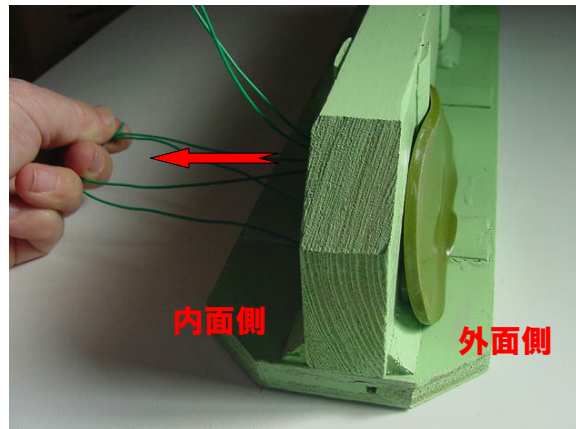


④ 先に上の針金を引張り円弧部のえらを引込みます。

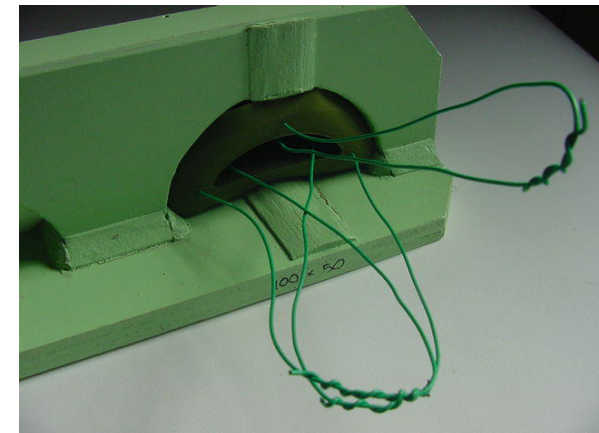
えらキャップ内面側からの挿入要領（2）



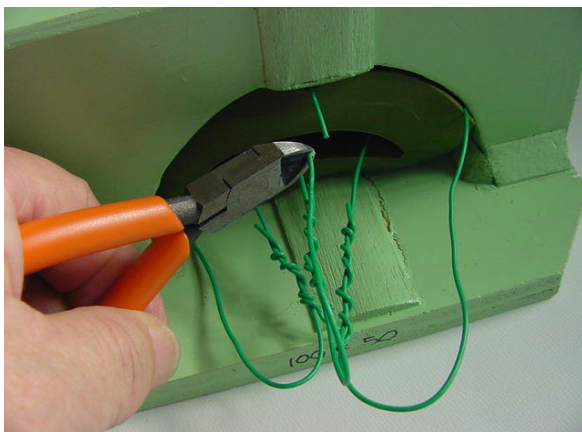
⑤ 次に両サイドの針金を引張り下側のえらを引込みます。



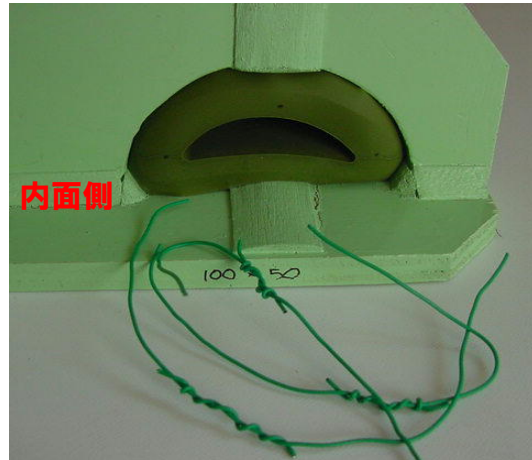
⑥ 下側を引込んだときの外面側セット状況



⑦ 引戻し作業完了



⑧ 引込み用針金を切断し針金を引抜きます。



⑩ 全ての針金を引抜いて完成です。この針金を残せば将来のメンテナンス用として利用できます。今までの逆ステップをとればえらキャップは取り外すことができます。